

そんな事から親交が深まり、又仕事の上でも信頼を寄せるようになりました。ある時、こんなことがありました。私の友人が都内で37年ぶりになる140床の精神病院を建てる際、戸田建設が施工したと思いますが、3000万円位の設備の仕事を紹介した際も、彼は泊まり込みで頑張ってくれてオーナーの東大の精神科のドクターとも親友に成りました。

又、(松戸の他のロータリーの会報も森谷さんの会社ミチコムさんのアドバイスを受けているところもあると伺っております)。余談ではありますが、先ほどの3000万円の設備の工事を紹介しますと、カステラの1つでも持ってお礼に来るかと思いましたが、あの工事は赤字だったと文句を言っておりましたが……。

以上お付き合いの中の一駒ですが、他にも彼の会社の新築祝いに呼ばれたり、忘年会にお招き頂いたり、又、私の所の祝儀、不祝儀の受付等も進んでお引き受け頂いたり、身内以上のお付き合いを頂いておりますのも、ロータリークラブと言う出会いの場があったらこそと感謝をしている処です。

森谷充伯次年度会長は、そのような意味で松戸北ロータリーを代表する逸材であり、その前途は洋々たるものがございませぬ。必ずや次年度も会長として松戸北ロータリーを引っ張ってってくれるものと確信しております。

そして、ガバナー補佐、ガバナーへと登りつめてくれるものと思ひます。段々に離れて行く気のする森谷会員ですが、最近狂歌を1つ覚えましたので送らせて頂きます。

「元の身の 毛虫忘るな 今は名を 揚羽の蝶の 高く飛ぶとも」

以上、なかなか口に出不せぬ森谷会員への感謝とお礼の気持ちを込めての卓話とさせて頂きます。 ご静聴ありがとうございました。

<報告：社会奉仕委員会：中原光男委員：崎谷延好会員>



4月17日陸前高田へ
ピアノメンテナンスに
いってまいりました。
5回目になります。

松戸市には
幸いなことに
活断層は
ありません。



<ニコニコ委員会：高橋 修委員>

■高橋 修会員：あれから5年・熊本（九州）大震災が発生しました。2010年-2011年私が会長を努め、現小澤会長に幹事を務めていただきました。東日本大震災が起り皆様の協力により、いろいろな支援策を実施することができ、勤め上げることが出来ました。



その後、父が亡くなり、また自分自身も大病をし、いろいろなことがありました。また、長男が結婚し、孫が生まれ新しい希望も生まれております。明日は我が身？備えはしておきましょう。また、毎日を大切に精一杯生きて行きたいと考えます。

社会奉仕基金3,786円

《会報編集委員》大川高明・織田 証・高橋 修

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2103回 例会 2016年4月26日(火)

- 国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン
- 第2790地区ガバナー 櫻木英一郎
- 第12分区ガバナー補佐 杉浦 昌則
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 盛明
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高崎 卓哉
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市根木内117-1「一幸・松戸根木内店」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第2103回：例会プログラム>

12:30 点鐘	ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	小澤盛明会長
12:33	お客様紹介	森谷充伯会長エレクト
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告	小澤盛明会長 高崎卓哉幹事
13:05	会員卓話 「ロータリーと私」	野村 充会員
13:25	【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 ■ニコニコ委員会	社会奉仕基金発表 本日のニコニコ発表
13:30 点鐘		小澤盛明会長

<会長挨拶・報告：小澤盛明会長>

皆様 こんにちは



すでにご承知の通り 熊本大分にて 大地震により甚大な災害が発生してしまいました。未だ地震の収束が見えず とても心配です。お亡くなりになられた方々には 心よりご冥福を申し上げますと共に 未だ行方解らない方一日でも早い救出をお祈りします。また、避難されている方々が一日でも早く落ち着いた生活を取り戻せることを合わせてお祈りいたします。

さて、地区より義援金の協力依頼が来ております。次の理事会にて義援の方向を決めさせて頂き 改めて皆様にご協力頂きたいと思っておりますので 宜しくお祈りいたします。

また、すでにFAXさせて頂きました地区研修・協議会の件ですが、ホストクラブとしてのお手伝いにおいて、急なお願いにもかかわらず多数の方に参加頂き大変ありがたく思います。改めて、感謝申し上げます。

出発時間と作業内容は、FAXさせて頂いた通りですが、ご協力の程 宜しくお祈りいたします。

<幹事報告：高崎卓哉幹事>



◆松戸ロータリークラブ
平成28年5月4日（水）定款第6条1節により休会

◆松戸中央ロータリークラブ
平成28年5月19日（木）定款第6条1節により休会

◆2016年5月のロータリーレートは、1ドル=110円です。

<会員卓話：野村 充 会員>

ロータリーと私（2008-2009年 野村・森谷年度を振り返って）



以前2007-2008年・小菅年度、私が会長エレクトの際にも「ロータリーに入会したころ」と題して卓話をさせて頂いた事があり、多少重複する所があるかと思っております。

その際は浅学菲才の身で会長を引き受けるにあたって、自己紹介の意味もありお話をさせて頂いたと思っております。

そこで今回は次年度、森谷・淵上年度を迎えるに当たり、「2008-2009年・野村・森谷年度を振り返って」との演題とさせて頂きました。

パスト会長となって10年を経た今日、私は65才になります。来し方を振り返りますと41歳で松戸北ロータリークラブに入会しました。紹介者は同業のチャーターメンバー伊藤吉美先生でした。メンバーには自分の父よりも年上の玉屋の鈴木さん、竹内能一さん等の先輩が、後輩には父と同年齢の中村力三さんや崎谷さん渡辺さん、長島さん等々楽しい日々を過ごさせて頂きました。入会時、紅顔の美少年でありました私も、髪に霜を置く60才半ばとなり、そんな中、東日本大震災の現場を視察してお帰りになった森谷さん、柳さんと話をした際、震災の現場での復興の一番早かった所は、60才以上の年寄りが余り口を挟まず、40才台の方々を中心に町おこしをやった所だとお聞きして、これからの松戸北ロータリークラブも現在の小澤・高崎年度も同様ですが、世代交代進んでいく中、行く末を楽しみにして邪魔をしないようにしなければとの思いを強くしておる処です。

又、ロータリーの難しい事はよくわかりませんが、ロータリーは今の自分の立ち位置から「人の世のために役に立つ何かを模索し、併せて自己の完成を追求して行く事」が目的のような気がします。

私が会長をお引き受けした時は、小菅年度35周年が終わる36年目で、私は入会15年目でした。私は1992年萩原会長年度の入会でしたので、40名の会員で単年度会長で輪番制かなと思ひ引き受けましたのと、入会当初「どちらが先に退会するかなあ」と毎週顔を合わせる度、ため息まじりに愚痴をこぼしていた小菅先生でもやるからには仕方ないとの思いでした。

（現在の小菅先生は北ロータリークラブの論客、知恵袋的存在ですが）又、その年度は並木ガバナー補佐、齋藤國春補佐幹事の当たり年の年でもありまして、幹事は当時若手売出し中の森谷充伯会員にお願いしました。これには当時、私には私自身の以前の反省もありまして、私が1996-1997年松丸会長年度の幹事を拝命した際のIMの時、以前所属していた青年会議所と同様に考え、義務出席なので全員来るはずと思い、全然アナウンスをしなかったところ、結局参加者は会長を除くと、私と亡くなった坂田会員と寺川会員の3名のみであった事がありました。

当然私は信頼をなくし、それ以降の会務は松丸会長一人でやっておられました。

その轍は踏むまいと思ひ、多少人間的に問題があっても幹事には「自分に優しく人に厳しい」森谷会員を口説きました。

実際の処、森谷充伯会員とは森谷さんが入会当時、同じ“充”という字が名前に入っている事もあり親しみを感じ、森谷さんが都内の大企業を辞し、地元で起業をされロータリークラブに入会した直後に私と酒席をともにした際、私が森谷さんに「おまえすげべだろ」と聞いたそうです。「なぜですか」と森谷さんが話すと「同じ“充”の字があるから」と私が答えたそうです。そして本当にその通りでした。

(次ページ)